

第2回鬼鬼クイズ～酒呑童子級～答えと解説

【答え】

1－E. 桃太郎 2－D. こぶ取りじいさん 3－A. 一寸法師 4－B. 瓜子姫と天邪鬼

【解説】

○桃太郎

【あらすじ】

桃から生まれた男の子・桃太郎が、おじいさんとおばあさんに育てられ、成長して鬼退治に出かける。道中、おばあさんの作ったきび団子で犬・猿・雉をお供に付けて鬼ヶ島へと向かい、鬼を退治して宝物を持って帰ってくる・・・、というお話。

五大昔話のひとつにも数えられる昔話の代表格。岡山県に伝わる伝説の鬼「温羅」を、朝廷から派遣された吉備津彦命が退治した話が元になっているともいわれる。

*ちなみに五大昔話は、桃太郎、浦島太郎（or かちかち山）、猿蟹合戦、舌切り雀、花咲か爺、だそう。

○こぶ取りじいさん

【あらすじ】

顔のこぶに悩んでいた爺さんが、ある日、山で鬼たちの宴会に行き会ってしまい、思わず踊りを披露したところ、鬼に大層気に入られてしまった。明日も必ず来いと、こぶを質に取られるが、こぶに悩んでいた爺さんは大喜び。隣にすむ同じくこぶに悩んでいた爺さんがそれを聞き、同じようにしてもらおうと鬼の宴会に出かけていくものの踊りが下手だったため、こぶを返すから帰ってくれ、と先の爺さんのこぶを付けられてしまう・・・、というお話。

鎌倉時代前期の説話集『宇治拾遺物語』に、鬼にこぶを取られる話、として記載のある昔話。こぶを取るのは、鬼ではなく天狗とする物語もある。

○一寸法師

【あらすじ】

一寸（約3センチ）の大きさで生まれた男の子が、針とお椀と箸をもらって、旅に出る。あるお屋敷でお姫様の遊び相手になるが、そのお姫様を鬼がさらおうとしたところを小さな体を活かして鬼の体のなかから戦い、退散させる。鬼が落としていった打出の小槌で、大人の男性と同じ大きさになり、お姫様と結婚する・・・、というお話。

○瓜子姫と天邪鬼

【あらすじ】

瓜から生まれた女の子が、美しく成長して長者の嫁になることが決まった。それを聞きつけた天邪鬼が姫をだまして家から連れ出し、木に縛り付けてしまう。天邪鬼が姫に化けて長者に輿入れしようをしたところ、鳥（カラスとも小鳥とも）が鳴いて知らせた天邪鬼は退治される・・・、というお話。

果実から生まれる赤子、鳥の助けを得て鬼を退治する、など桃太郎との共通点が多い物語としても知られる。天邪鬼は、『古事記』などに登場する黄泉醜女（よもつしこめ）、天探女（あめのさぐめ）がルーツともいわれている。

○鬼の子小綱

【あらすじ】

鬼が娘をさらってしまい、おじいさんが取り戻しに行くが、鬼と娘の間には子どもが産まれていた。その鬼の子＝小綱とともにおじいさんと娘は舟で逃げ出すが、鬼が追いかけてきて川の水をすべて飲み込もうとする。娘が鬼に向けて尻を叩いてみせると鬼が笑って川の水を吐き出してしまった。娘たちはそれで逃げ切ることができた・・・、というお話。

物語には様々なバージョンがあり、最後は鬼の子は追い出されたり、長じて人を喰うことになる前にと自分の体を鬼除けに使うことを提案したりする。